

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業（イノシシ）の捕獲と

生息状況調査の結果

指定管理鳥獣捕獲等事業（以下、指定管理事業）の捕獲及び生息状況調査の結果については保護管理ユニット（以下、ユニット）単位でとりまとめる。なお、詳しい結果については参考資料2に提示する。

1 捕獲の実施結果（県中部区域）

1-1 令和6年度事業における捕獲結果

- くくりわなで176頭、箱わなで61頭の合計237頭を捕獲し、目標捕獲数の130頭の約1.8倍の結果であった。
- CPUEは箱わながくくりわなよりも高い傾向を示したが、箱わなは幼獣の割合が高かった。
- 市町村別CPUEでは、くくりわなで千葉市（CB1）、市原市（I13）、大網白里市（OS2）が、箱わなで大網白里市（OS2）、市原市（I13）、山武市（SM1）が高い値を示した。市原市、大網白里市の2ユニットはくくりわな、箱わなのいずれも高い値を示したが、千葉市のCB1は、くくりわなで高いものの箱わなでは0となった。

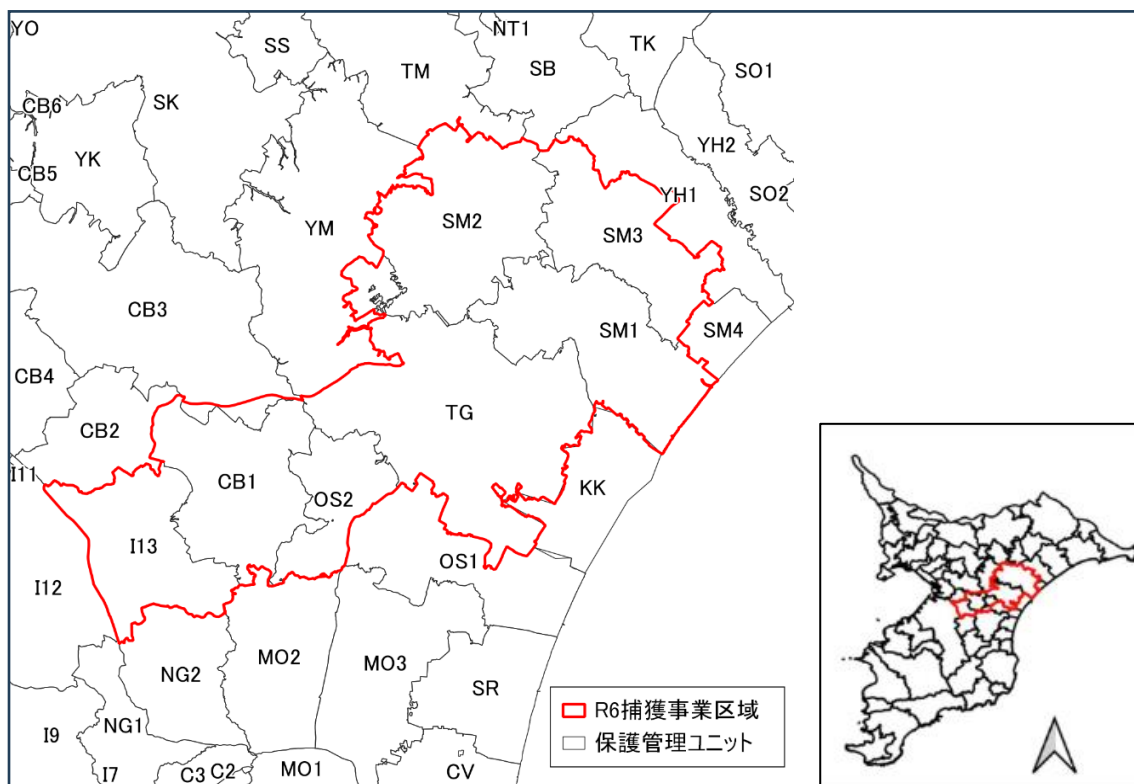


図1-1 事業区域および周辺の保護管理ユニット（県中部区域）

表 1-1 ユニットごとのわな捕獲の作業及び捕獲状況

市町村	ユニット	わな日	捕獲数	CPUE	空はじき率 (%)	成獣メス割合 (%)	幼獣割合 (%)	オス割合 (%)	幼獣/成獣メス比
くくりわな									
千葉市	CB1	4,140	58	14.01	0.24	12.1	48.3	74.1	4.0
市原市	I13	4,650	56	12.04	10.97	26.8	50.0	42.9	1.9
大網白里市	OS2	4,332	48	11.08	16.62	18.8	52.1	68.8	2.8
東金市	TG	4,620	8	1.73	24.03	37.5	25.0	50.0	0.7
山武市	SM1	1,694	3	1.77	5.3	33.3	33.3	66.7	1.0
	SM2	1,948	3	1.54	1.03	100.0	0.0	0.0	0.0
箱わな									
千葉市	CB1	230	0	0.00	0.0	-	-	-	-
市原市	I13	351	22	62.68	17.1	0.0	81.8	54.5	-
大網白里市	OS2	228	25	109.65	21.9	0.0	100.0	76.0	-
東金市	TG	116	1	8.62	25.9	0.0	100.0	100.0	-
山武市	SM1	115	7	60.87	0.0	28.6	42.9	71.4	1.5
	SM2	246	6	24.39	4.07	50.0	50.0	33.3	1.0

※わな日はわな数×わな稼働日数により算出した。

※CPUE は（捕獲数/わな日）×1000、空はじき率は（空はじき/わな日）×1000 とした。

※オス割合は成獣オス・幼獣オスの合算値である。

※幼獣/成獣メス比は幼獣個体数を成獣メス個体数で割った値である。成獣メス捕獲数が0の場合は「-」で示した。

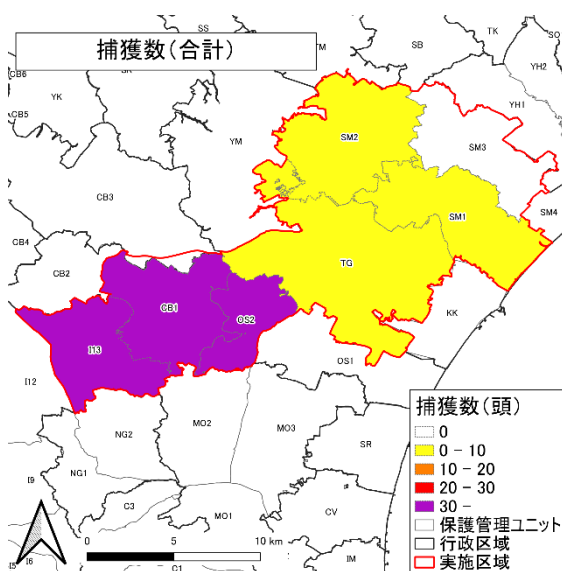


図 1-2 捕獲数
(くくりわな、箱わな合計)

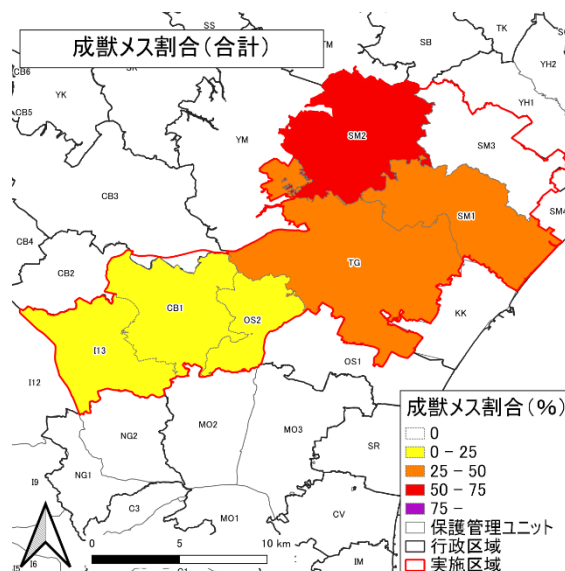


図 1-3 成獣メス割合
(くくりわな、箱わな合算)

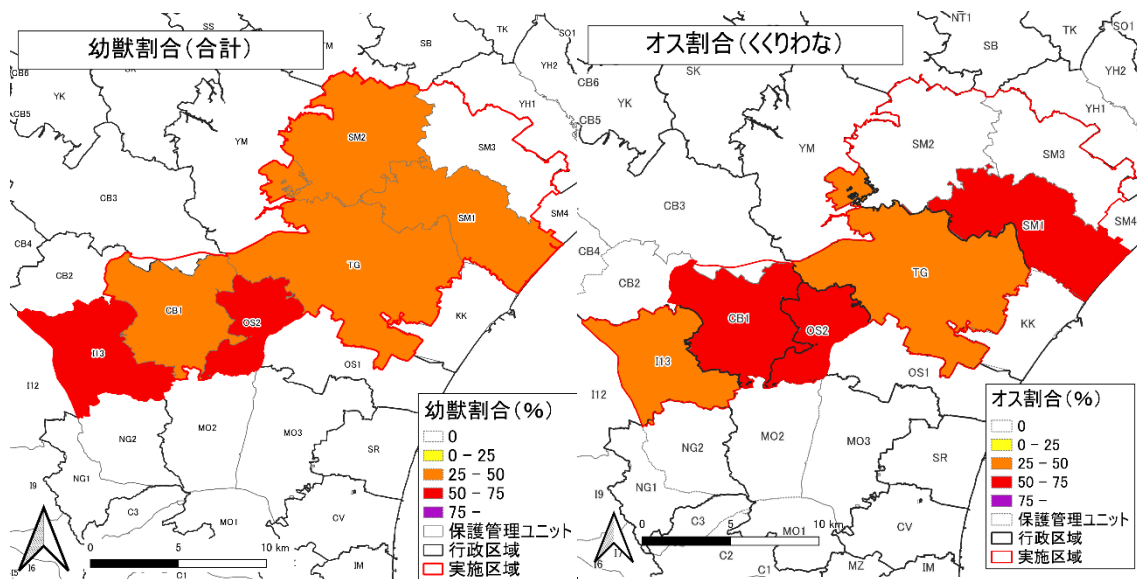


図 1-4 幼獣割合(合計)

図 1-5 オス割合(くくりわな)

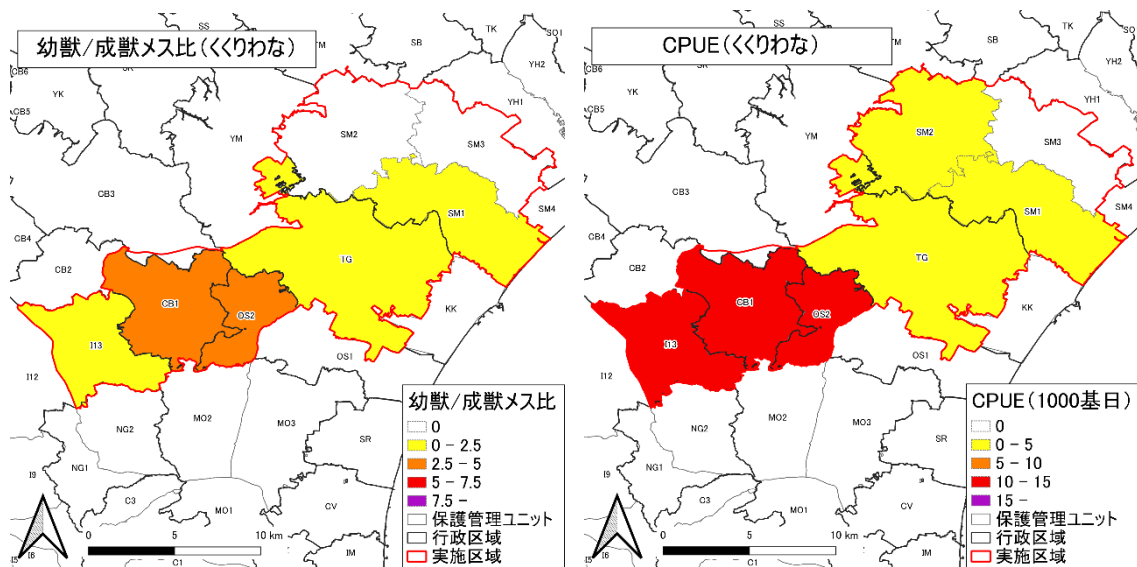


図 1-6 幼獣/成獣メス割合
(くくりわな)

図 1-7 CPUE(くくりわな)

くくりわな捕獲は箱罠と比較して捕獲のランダム性が高く生息実態をより反映していると考えられ、オス割合が低い地域は定着が進んでおり、高い地域は進入初期に近いと示唆される。

1-2 令和4～6年度事業における捕獲結果

- わな数はくくりわな、箱わなともに減少したが、わな日はくくりわな、箱わなともに増加した。
- 地域全体での成獣メス割合は、くくりわなでは減少傾向、箱わなでは若干の増加傾向を示した。
- くくりわなの成獣メス割合はTG（東金市）とSM2（山武市）を除き減少傾向にあった。TGではR5に減少したもののR4年度水準まで増加した。SM2では捕獲された3頭すべてが成獣メスだった。
- 地域全体での幼獣割合はくくりわな、箱わなともに横ばい傾向となった。
- ユニット別の幼獣割合は、くくりわなでは捕獲数の多い千葉市、市原市、大網白里市で横ばいとなった。箱わなではくくりわなと比較して高い水準で推移し、OS2（大網白里市）、TG（東金市）では100%となった。
- CPUEはくくりわなは千葉市、市原市、大網白里市で増加傾向、箱わなはCB1（千葉市緑区）、I13（市原市）をのぞく地点で増加傾向を示した。

数値 小  数値 大

表1-2 令和4～6年度のわな数

くくりわな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	50	36	38
市原市	I13	56	40	42
大網白里市	OS2	74	38	40
東金市	TG	86	56	52
山武市	SM1		12	14
	SM2		18	16
中部全域		266	200	202

箱わな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	2	2	2
市原市	I13	5	3	3
大網白里市	OS2	5	2	2
東金市	TG	5	3	2
山武市	SM1		1	1
	SM2		1	2
中部全域		17	12	12

表1-3 令和4～6年度のわな日

くくりわな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	5,026	4,104	4,140
市原市	I13	5,456	4,580	4,650
大網白里市	OS2	5,610	4,310	4,332
東金市	TG	2,911	4,584	4,620
山武市	SM1		1,469	1,694
	SM2		2,123	1,948
中部全域		19,003	21,170	21,384

箱わな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	238	228	230
市原市	I13	472	345	351
大網白里市	OS2	238	226	228
東金市	TG	105	114	116
山武市	SM1		125	115
	SM2		125	246
中部全域		1,053	1,163	1,286

表 1－4 令和 4～6 年度の空はじき率

くくりわな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	1.99	0.49	0.24
市原市	I13	16.86	12.45	10.97
大網白里市	OS2	4.28	12.06	16.62
東金市	TG	15.12	12.65	24.03
山武市	SM1		8.85	5.31
	SM2		3.30	1.03
中部全域		8.95	8.93	11.50

箱わな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	0.00	0.00	0.00
市原市	I13	12.71	2.90	17.09
大網白里市	OS2	0.00	4.42	21.93
東金市	TG	0.00	0.00	25.86
山武市	SM1		32.00	0.00
	SM2		8.00	4.07
中部全域		5.70	6.02	11.66

表 1－5 令和 4～6 年度の成獣メス割合

くくりわな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	25.00	15.56	12.07
市原市	I13	23.08	39.47	26.79
大網白里市	OS2	26.19	31.43	18.75
東金市	TG	37.50	11.76	37.50
山武市	SM1		80.00	33.33
	SM2		66.67	100.00
中部全域		25.75	28.67	21.59

箱わな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	0.00	0.00	
市原市	I13	18.18	0.00	0.00
大網白里市	OS2	5.00	20.83	0.00
東金市	TG	50.00	0.00	0.00
山武市	SM1		0.00	28.57
	SM2		0.00	50.00
中部全域		13.04	8.06	8.20

表 1－6 令和 4～6 年度の幼獣割合

くくりわな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	43.18	48.89	48.28
市原市	I13	47.69	44.74	50.00
大網白里市	OS2	50.00	42.86	52.08
東金市	TG	43.75	82.35	25.00
山武市	SM1		20.00	33.33
	SM2		66.67	0.00
中部全域		46.71	49.65	47.73

箱わな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	100.00	100.00	
市原市	I13	72.73	100.00	81.82
大網白里市	OS2	85.00	79.17	100.00
東金市	TG	50.00	0.00	100.00
山武市	SM1		0.00	42.86
	SM2		100.00	50.00
中部全域		78.26	91.94	81.97

表 1－7 令和 4～6 年度のオス割合

くくりわな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	43.18	60.00	74.14
市原市	I13	50.77	44.74	42.86
大網白里市	OS2	45.24	48.57	68.75
東金市	TG	43.75	41.18	50.00
山武市	SM1		0.00	66.67
	SM2		33.33	0.00
中部全域		46.71	48.25	60.23

箱わな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	50.00	50.00	
市原市	I13	50.00	51.43	54.55
大網白里市	OS2	80.00	54.17	76.00
東金市	TG	0.00	0.00	100.00
山武市	SM1		0.00	71.43
	SM2		0.00	33.33
中部全域		60.87	51.61	63.93

表 1－8 令和 4～6 年度の CPUE（1000 台日あたり）

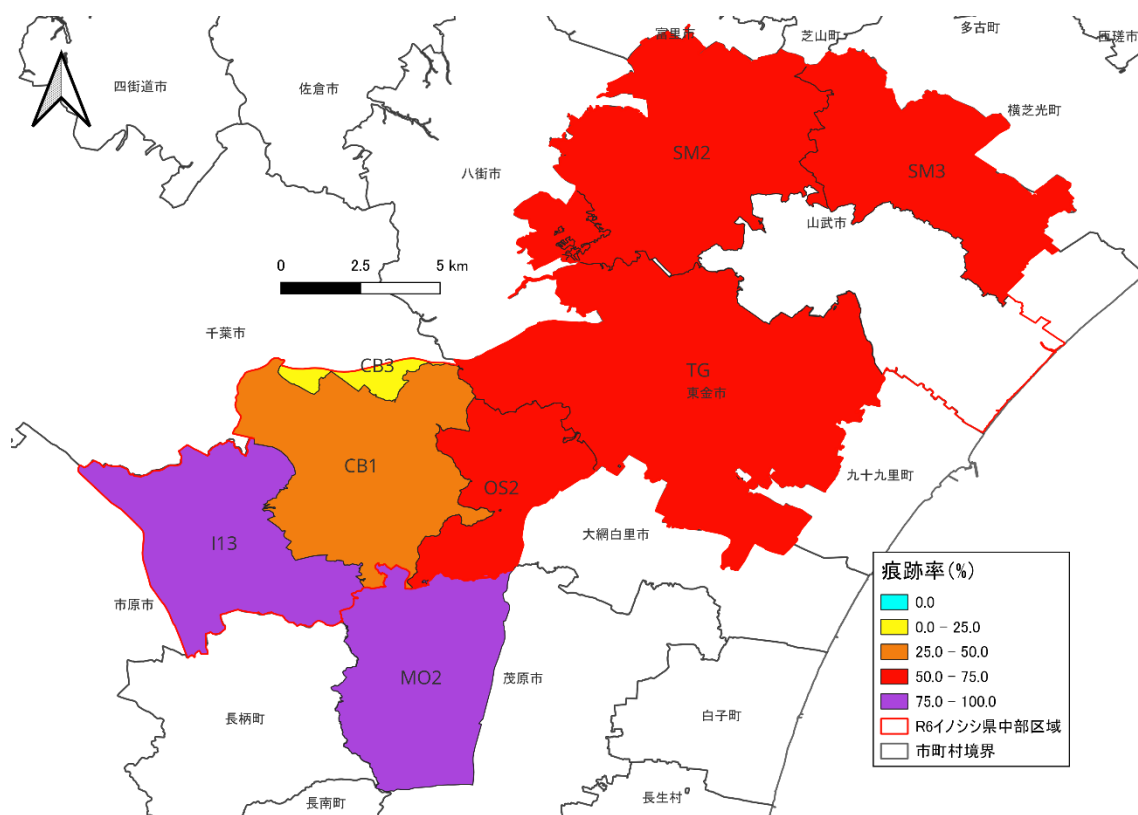
くくりわな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	8.75	10.96	14.01
市原市	I13	11.91	8.30	12.04
大網白里市	OS2	7.49	8.12	11.08
東金市	TG	5.50	3.71	1.73
山武市	SM1		3.40	1.77
	SM2		1.41	1.54
中部全域		8.79	6.75	8.23

箱わな		R4	R5	R6
千葉市緑区	CB1	8.40	8.77	0.00
市原市	I13	46.61	101.45	62.68
大網白里市	OS2	84.03	106.19	109.65
東金市	TG	19.05	0.00	8.62
山武市	SM1		0.00	60.87
	SM2		8.00	24.39
中部全域		43.68	53.31	47.43

2 生息状況調査の結果（県中部区域）

2-1 令和6年度調査結果

- 痕跡調査では、ルートを100m毎の区間に分け、痕跡率（痕跡が確認された区間数／総区間数（%））を算出した。
- 市原市のI13、茂原市のMO2、山武市のSM2の順で痕跡率が高かった。
- 市原市のユニットI13の撮影頻度が最も高かった。
- 成獣メスの撮影頻度は大網白里市のユニットOS2と市原市のI13が高い値を示した。



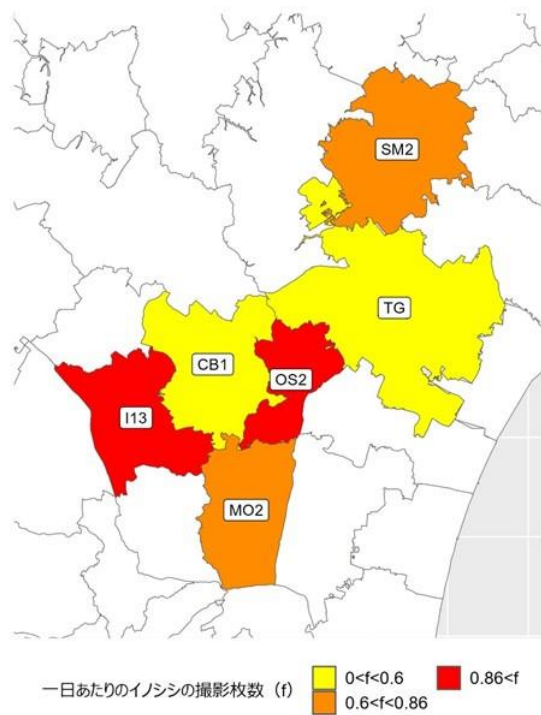


図 2-2 イノシシの撮影頻度（令和 6 年 1～11 月）

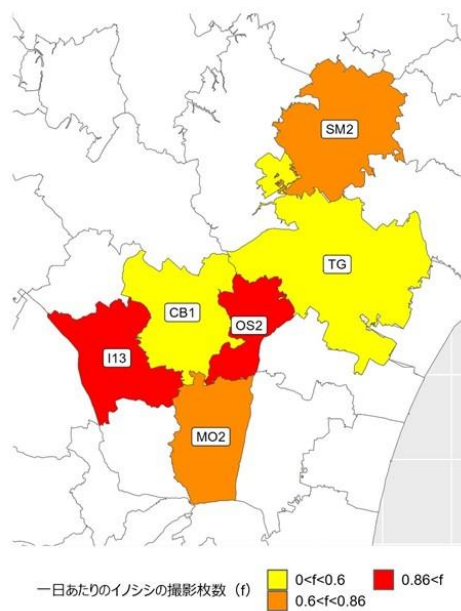


図 2-3 イノシシ成獣メスの撮影頻度（令和 6 年 1～11 月）

2-2 経年変化

- 痕跡密度は令和5年度と比較して令和6年度はほとんどのルートで増加し、令和4年度の水準と同等程度となった。
- 山武市のSM2は調査開始の令和4年度から継続して増加傾向にある。
- 撮影頻度は茂原市のユニットMO2では、イノシシの撮影頻度が昨年度より半分以上低下し、令和3年度の水準と同等程度となった。
- 市原市のユニットI13の撮影頻度は経年的に増加傾向にある。

表2-1 平成27年度～令和6年度までのユニットごとの痕跡密度の比較

市町村	ユニット	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R04	R05	R06	R03
		痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)	痕跡密度 (個/km)
千葉市	CB1	-	-	12.62	44.67	2.83	18.10	25.68	3.50	17.38	103.80
千葉市	CB3	-	-	-	-	0.31	8.51	5.76	1.66	6.23	45.26
市原市	I13	-	-	-	-	2.62	39.19	72.10	20.37	49.70	234.17
茂原市	MO2	2.57	0.00	3.79	18.48	15.31	16.19	46.64	17.91	38.18	161.19
大網白里市	OS2	-	-	2.75	28.23	18.82	14.91	27.70	13.00	22.76	164.43
山武市	SM2	-	-	-	-	-	-	9.03	22.28	26.16	154.06
山武市	SM3	-	-	-	-	-	-	-	0.65	0.65	-
東金市	TG	-	-	-	-	-	20.43	35.38	12.40	21.12	239.44

密度低  密度高

「-」：調査されていないため、データ無し。

R03：調査方法が異なるため比較なし。

表2-2 平成29年度～令和6年度までのユニットごとの撮影頻度の比較

市町村	ユニット	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06
		撮影頻度 (枚/日)	撮影頻度 (枚/日)	撮影頻度 (枚/日)	撮影頻度 (枚/日)	撮影頻度 (枚/日)	撮影頻度 (枚/日)	撮影頻度 (枚/日)	撮影頻度 (枚/日)
千葉市	CB1	-	-	0.111	0.107	0.162	0.434	0.326	0.167
千葉市	CB3	-	-	-	0.009	-	-	-	-
市原市	I13	-	-	-	0.357	0.385	0.768	0.967	1.419
茂原市	MO2	0.452	0.482	0.709	0.503	0.677	2.907	2.324	0.831
大網白里市	OS2	-	-	-	0.138	0.251	0.502	0.953	0.931
山武市	SM2	-	-	-	-	-	0.724	0.428	0.831
東金市	TG	-	-	-	0.000	0.082	0.359	0.167	0.127

頻度低  頻度高

「-」：調査されていない、もしくはカメラ設置期間が6か月以下のものは比較対象外とし、データ無し。

※1～11月の期間で得られたデータを集計した。

2-3 まとめ

ユニットごとの密度指標値を平均0、標準偏差1になるように標準化し、各年度、ユニットで平均値を取ることで統合密度指標を算出した。

- 令和5年度と比較して、令和6年度は茂原市のMO2及び山武市のSM3を除いたユニットで統合密度指標が増加した。

表2-3 平成27年度～令和6年度までのユニットごとの統合密度指標の比較

市町村	ユニット	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R6
千葉市	CB1	-	-	-0.03	1.85	-0.52	-0.07	-0.33	0.45	-0.30	-0.04
千葉市	CB3	-	-	-	-	-0.75	-0.27	-	-0.43	-0.68	-0.41
市原市	I13	-	-	-	-	-0.62	0.78	0.08	2.13	0.82	2.07
茂原市	MO2	-0.62	-0.77	-0.17	0.29	0.40	0.24	0.62	3.37	2.07	1.19
大網白里市	OS2	-	-	-0.61	0.89	0.33	-0.14	-0.17	0.58	0.56	0.83
山武市	SM2	-	-	-	-	-	-	-	0.23	0.35	0.84
山武市	SM3	-	-	-	-	-	-	-	-	-0.73	-0.73
東金市	TG	-	-	-	-	-	-0.10	-0.48	0.67	-0.18	0.03

値低



値高

「-」: データ無し。